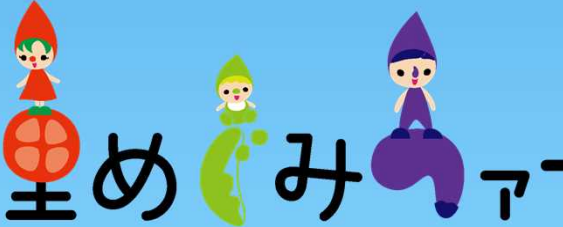


九設ふる里めぐみファーム ミニトマト事業のご案内

愛情ギュッと。

自然のめぐみ。

九設ふる里めぐみファーム



事業方針

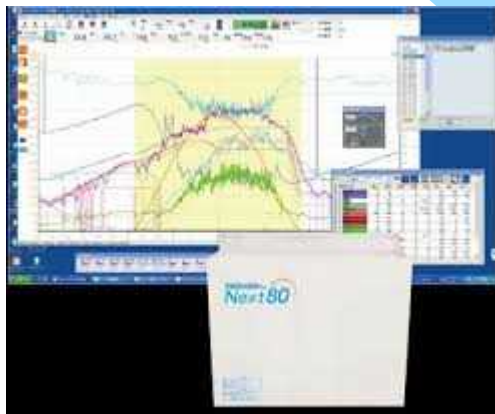
▶ミニトマト栽培の取り組み方針、モットー



•農場入場時の
徹底した衛生管理



•安全を重視した
低農薬管理



•コンピュータ環境制御により、
品質と生産量を一定化

安心 安全

安定

事業概要

▶ 九設ふる里めぐみファーム ハウス2号棟(国東農場)

事業内容	環境制御による高付加価値ミニトマト生産
栽培品目 作型	ミニトマト(オランダ新種) 通年出荷
事業農地	大分県国東市国東町安国寺
施設規模	総圃場面積:9,504m ² A棟ハウス面積: 5,280m ² (内、集出荷等352m ²) B棟ハウス面積: 4,576m ²
人員規模	・正社員2名、パート約20名



栽培施設・設備(1)

▶ 高品質ミニトマトの管理栽培を可能にする設備の導入

ハウス仕様

15連棟+13連棟式の硬質フィルムハウス(軒高4.2m 最高点約5.5m)



栽培施設・設備(2)

▶高品質ミニトマトの管理栽培を可能にする設備の導入

複合環境制御システム(NEXT80)

★光合成の働きを最大限に引き出し、高収量や高品質を実現。



天窓の開閉や換気、温・湿度の管理などをコンピューターで自動制御。

・プロファイnderにより、施設栽培における環境因子の「見える化」を実現

・複数の機器を最も効率的な組合せで動作

[制御項目]

温度、湿度、日射、二酸化炭素、雨、風向、風速 など
(温室内外のデータ、天気予報のデータ)



栽培施設・設備(3)

▶高品質ミニトマトの管理栽培を可能にする設備の導入

<p>ハイワイヤー栽培方式</p> 	<p>Fクリーンフィルム(ナシジ)</p> 	<p>重油暖房機</p> 
<p>受光体勢が優れ、糖度が高く、品質が向上。作業性も良。</p>	<p>ナシジの散乱光機能によって、より多くの葉で光合成が行われやすく被覆資材としては最高水準。</p>	<p>冬場ハウス内の保温。室温12℃～18℃をキープ。</p>
<p>ココピート培土</p> 	<p>ハウス内環境センサー</p> 	<p>循環扇</p> 
<p>ココピート(ヤシ殻)を使った隔離栽培システム。土壌病害の発生を防ぎ、交換可能。</p>	<p>環境制御に必要な気温、湿度、CO2濃度等のセンサー格納箱。</p>	<p>温度、湿度の均一化、暖房費節約、光合成促進。</p>

栽培施設・設備(4)

▶高品質ミニトマトの管理栽培を可能にする設備の導入

液肥混入装置



A液、B液を混合し最適な液肥を注入。

養液・灌水制御装置



灌水時間、間隔、量、が組み合わせ自由で、吸水量の多い時間に合わせて調整可能。

遮光カーテン



強度の日照を和らげ室内環境を制御するとともに作業環境を良化。

光合成促進装置(二酸化炭素発生装置)



植物の成長率を高め、食味の向上や収量アップ、肥料の吸収率を向上。

細霧装置



夏季の冷房とトマトの光合成促進に最適な温度コントロール。

品種(オランダ新種)の特性

▶ 裂果少なく食味に優れたミニトマト

◆ 酸味を抑えて甘みが際立ち、食味に秀でたミニトマトです。

◆ 果色は鮮赤でテリがあり、光沢のある美しい果実です。

◆ ガクがしおれにくく新鮮な状態が長く続き、
店もちが抜群です。



作型モデルと出荷予定数量

➤ ミニトマトのハウス栽培モデル（国東農場）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A棟	定植		収穫									
B棟	収穫				定植		収穫					

➤ 出荷予定数量

月別出荷量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見込み ton	12t	12t	16t	17t	12t	12t	13t	20t	16t	15t	15t	15t	175t

安定した出荷量と 安全・安心の品質を実現

大きさ

Sサイズ : 8g~10g
Mサイズ : 11g~15g
Lサイズ : 16g~20g
2Lサイズ : 21g~25g

収穫日

収穫日は月、水、金の週三回
基本として、当日出荷します

パック詰め対応

150g、200gパック対応可

注文期日

ご注文は発送前日17:00までをお願いします。
(FAX対応)

栽培イメージ(準備、仮定植)



栽培イメージ(定植)



栽培イメージ(誘引①)



栽培イメージ(誘引②)



栽培イメージ(収穫)



選果イメージ①



選果イメージ②

